

元刊本からの註

1. この〈版〉の元になつてゐるのは、その
行とくびが、1981年〈春〉に〈熊本〉
に巡礼してきた〈新潟〉版の正本〈ドイツ
語の本〉である。この〈本〉を讀むにあつ
つて、〈新潟〉版および、その不足を補うた
めに〈熊本〉で、一部の内容をよみやすく
しつゝ増刊した第〈0〉次〈熊本〉版を參
照してゐたことが望ましいが、基本的
に重要なこととして三一書房版「ドイツ語
の本」との関連についてのみお話をしな
ければならぬ。この本には意識的に削除・訂
正が、三一書房編集部と、それを許容した
三名の著者によつてほどこされてあり、こ
の「マ」マの婚介に引き出される全マの「マ」
マを展開するたぐいに正本〈ドイツ語の本〉
が出現したのである。しかし、たがうとい
つて私たちは三一版を参照せずに正本の
まを手にしてきただけではない。三一版を根底

から批判・止揚するたぐいには出版過程の資
本の論理をも討決しなればならぬ。その
たぐいに、この「海賊版」の概念をたぐ
いに乗り越したぐい「版」の「10.3出版」に
よつて作成された、正本と其の正誤の授受を
ふくむ場で讀まれてきた。この「~~版~~」の「
」版こそ正本〈ドイツ語の本〉の夏の「
」であり、前述の親交から、たぐい併合して
讀まれる必要がある。なお、この「
」版は、三一書房を小くむ出版資本に訂して非
公然におこなつてゐるたぐいである。逆に、
三一書房が1976年の制作段階以降、私
たちからの提起や批判に全く答へずにいる
ことを追求しつゝ、この「
」版を小くむ私た
ちの活動について公然と提起をおこなつて
きてゐる。関連資料は、いつても回覧可能
であるし、刊行〜応用の準備をすすんでい
る。
2. 次にこの〈本〉の作成過程の心理性にお
び困難性についてのみお話をしな。この〈本〉

その冒頭の註で記しているように、深い思想性と
困難性をくくって刊行されたが、
1977年〈本〉に

3

の前位7%の〈新訳〉版は、その生誕の地で
その他の場では、~~1981年〈春〉まで~~
~~現在まで~~正現のトイッ語の授業
で使用するにふさわしかった。~~1981年~~
~~〈春〉~~98/年以降に〈熊本〉で、はじめて可能
になったのである。これは、〈本〉がたく
に注意の場所を~~読みま~~まよるものでなく、〈本〉
にふける人たちが総体により絶えず作成〜改
訂を繰り返してきている。しかも、~~1981年~~
~~〈春〉~~この作成〜改訂を~~おこな~~おこな
う場合、その情動的〜表現論的的重要性は、は
かり知られない。という私たちの大学斗争以
降の発想を鼓舞し、~~飛躍~~飛躍させる契機に存
した。〈新訳〉版 → 〈熊本〉版の改訂作業
は、このように存位相で、かつ三版へお批
判の持続と互におこなわれてきたが、この必然
性は困難性~~に包圍~~に包圍されてきた。前述の必
須性を運動させること自体が、一歩一歩、
英学当局の圧力や、参加者の異和~~の~~の
うごきを余儀なくさせ、改訂作業をこなす
正本や、ト版の使用そのものについて絶

4

えず暗中操作を続けなければならなかった
か)である。しかし、しーニでけな〜
〈革命〉は論じるより、やってみる方が
おもしろい。私たちが、たぐいに苦しみな
らなければ、たのしみつつ、この作業をし
てきた。この〈本〉を手にする人々に、こ
の〈おもしろさ〉を共有してほしいと願っ
ている。
3. 再現的には〈時代〉の指標はますますく
困難な方向をさし示してゆくようになって
してはいる。そして、たがたが一冊の〈本〉
を暗介にせしめることは〈0〉に等しいと
~~思~~思えるかもしれない。しかし
〈0〉は0でなく、この章がその出立か
く〉の世界的イミを包括しているはずで
あるという確信を私たちは抱き続けてい